

研修だより

平成29年4月17日

No. 2

生保内小学校 研修部



新年度がスタートして、早2週間！

明日は全国学テ、そしてあさってにはPTA参観日がありますが、それ以後はじっくり子ども達に向き合い、授業実践を進めていきましょう。特に、持ち物（学習用具）・家庭学習の進め方について、PTAの全体会の際に、私の方からも保護者向けにお話をし、協力をお願いする予定です。さらに、懇談でも触れていただければ幸いです。

*2種類の用紙「学びのやくそく（学習用具）」「家庭学習の手引き」を配付したいと思います。

◎はじめに～2週間をふりかえって～

前回の職員会議の際に提案した

子ども一人一人や学級全体の実態把握

学習の約束を確認し、定着に結びつける指導

は、どうだったでしょうか。いろいろ見えてきたことがあったと思います。落ち着いて、集中して学習に取り組むための基本的なことです。粘り強い指導が必要です。ご指導よろしく願いいたします。

*後日、先生方に「振り返り用紙」を配付する予定です。

5月の研修



1. 5月の研修計画（研修日・出張等）

期 日	曜 日	研 修 名 ・ 内 容
5月9日	月	特別支援教育支援員研修（浅舞公民館） 校内全体研修会（今年度の研究主題・研究内容等について②）
5月12日	金	安全管理指導者研修会（●●，教育センター）
5月23日	火	幼小連携推進事業オリエンテーション（●●・●●，近代美術館）
5月24日	水	「確かな学力」向上推進協議会Ⅰ（●●，浅舞公民館） 小中学校新任教頭研修講座（●●，教育センター） *25日も
5月26日	金	新任特別支援教育コーディネーター研修会（●●，教育センター）
5月29日	月	事務職員等人事評価者研修（●●，教育センター）

2. 研修事項

- ①「表現」を意識した日々の授業実践
- ②チャレンジタイム、チャレンジテスト、家庭学習等共通実践事項の実行

3. 学習指導

① 5月の目標

学習のやくそくを守り、友達と伝え合い、学習に取り組もう！

②実践事項

ア)「学習のやくそくを守り～」

→机上の用具、「話す・聞く」の態度や姿勢…

- ・4月で確認したことが継続できるように身につくまで辛抱強く
- ・ちょっとした緩みが大きく広がらないように…

イ)「友達と伝え合い～」

→考えの発表など、教科や実態に合わせて、自分を表現する機会の設定

- ・話し方、聞き方、書き方などの指導も…という思いが当然出てきますが、まずは発表する意欲を大切にし、育てることから

③実践例

- ア)・適宜学習のやくそく（まなびのスタイル等）に立ち返させ、子どもたちに言葉がけをする。
・掲示や板書をするなど、毎日一つずつ今日のめあてに取り上げ、取り組む。
- イ)・発表したいという意欲につながる学習課題、学習内容、発問の工夫に心がける。
・「気軽に話せる」「まちがいを受け止めてくれる」という学級の雰囲気づくりを大切にする。

*参考資料「全員挙手の取組」もどうぞ

4. そのほか（お願い等）

①「チャレンジタイム」「家庭学習共通実践に向けて」について *別紙参照

*20日木曜日の全体研修会の際に、ご意見をお聞かせください。

②「学びのやくそく」「家庭学習の手引き」 *別紙参照

*今日中にご意見をお聞かせください。

加除・訂正をし、PTAの際に配付します。

全員が挙手して主体的に学べる集団

進んで教わる
進んで教える
助け合う
気軽に話せる

人とのかかわり方
人とかかわること
の大切さを学ぶ

学習内容の
確実な習得

全員挙手は「みんなでよくなる」ために

なんのための全員挙手？



積極的に学習に参加する態度を養う

質問されたり反対されたりして深く考える

学習活動に参加しているかどうか確認する

「主体的・対話的で深い学び
を実現して、資質・能力を育
成する教育」の取組の一つと
して、

「**全員挙手**」を、
キーワードにしている神奈川
県の川崎小学校の取組を紹介
します。



挙手して発言できない子がいるとき

三つの視点で見直し

集団

『何でも言える』『まちがってもバカにしない』
安心して過ごせる集団になっているか

発問

全員が挙手できる、実態に合わせた発問になって
いるか

児童

恥ずかしがり屋・緘黙など個人の問題に対応して
いるか【時間をかけて、計画的に】